

逢坂むらづくり協議会

計画書の概要とその後

地域審議会にて紹介のために

平成22年8月24日
逢坂むらづくり協議会

1 計画書の基本的な考え方

- ・まちづくりの背景把握
- ・まとまりある構成を希求
- ・記述形式で展開
- ・分析より統合を重視
- ・各専門部の意向を反映
- ・スケールの大きいものに



2 計画書の趣旨（背景）

計画書は、鳥取市の「協働のまちづくり」の理念に基づき、当地区があらゆる分野にわたり住みやすい地区になるよう、課題解決に向けた取り組みを展開し、地域コミュニティ(共同体)の充実・強化の方策を描くものとしします。

参照：図1(p9)、図2(p10)

3

3 検討の体制

・計画書の検討体制は、協議会の下に6つの専門部をもうけて、アンケートにより明らかとなった課題の解決のための方策（事業）を検討しました。

・とりまとめた事業は協議会で検討し、専門部間・全体との調整につとめました。

参照：p7（計画書策定の組織体制と役割）
p14（協議会組織機構関連図）



4

4 専門部とテーマ

- メインテーマ“知恵をもてよらいな逢坂”のもと、各専門部は次のサブテーマをうたいました。

生涯学習部=大人と子ども、共に育むむらづくり

健康増進部=笑顔で元気なむらづくり

福祉部=みんなが集う安心のむらづくり

伝統文化部=伝統文化を保存・継承し、集い楽しむむらづくり

産業振興部=地域に根ざし、農を生かした産業のむらづくり

生活環境部=環境美化でさわやかな、安全のむらづくり

参照：p13(専門部の計画立案のテーマ)

5

5 検討結果

- 6つの専門部はそれぞれのテーマにしたがって目指すべき理念を掲げました。

参照：p16～27(各専門部計画案)

- 「当面の実施計画案」として、重要事項と思われる事業をとりまとめました。

参照：p28～29(当面の実施計画案)



6-1 平成22年度取り組むべき事業

- 第一期計画として、次の3専門部が「当面の実施計画案」(pp28-29)のなかから次の事業を提案しています。

専門部	事業名	内容	経費
生涯学習部	地域の教育力向上	教育力増進:子育て親育ち応援カレンダー ご当地カルタ大会:公民館まつりで (用瀬・市中央・気高図書館にて展示) シニアの学びなおし(講演会) —前県教育長中永廣樹氏	鳥取県地域力(鳥取力)を高める公民館活性化モデル事業補助金
	里山文化の情報発信	おうさか地区生活百科フォトコンテスト (公民館まつりで展示) 写真教室	

7

6-2 平成22年度取り組むべき事業

専門部	事業名	内容	経費
福祉部	安全教育の推進	AED講習など	鳥取市協働のまちづくり助成事業交付金と地区費
	高齢者の集うサロンの開設	ミニデイの活性化策としてハンディ型マイク購入	
産業振興部	農業講座	自然を楽しむ菜園講座 8回 (農薬を使わない野菜づくり) —自然農法国際研究開発センター 松実能文氏 他	

8

7 その後のこと

- 8月現在、予定事業は進行中です。
- 実施後、計画書策定の手順(p8)により、事業の点検評価を行い、次年度の計画に反映します。
- 各専門部事業の関係性(p12)から、協議会組織機構(p14)の再編が必要となるかも知れません。

9

おわり

さようなら さようなら

10